

泉区ボランティアネットワーク通信

■この人に会いたい<10>

事務局次長 大橋 竜太郎さん(37歳)

今年4月1日から事務局次長として赴任してきた期待の若手ホープだ。5月の初め、紹介された当初から『若々しさに加え「親しみ」のある雰囲気を持った人』そんな印象をもっている。区社協のような公共施設の場合、窓口で多くのボランティアと接することが多い職場では大事な要素である。

大橋さんは、泉区に来る前は中区・桜木町駅前の横浜市社会福祉協議会の総務課に2年勤めていた。ここは市内18区にある地域社協の総元締め。いわゆるボランティア活動の拠点であり、ここで実務を経験した多くの人材が各地で活躍している。

大橋さんの福祉の活動歴はおよそ13年。かなりの中堅である。平成20年～25年、東戸塚地域ケアプラザで5年。同26年～30年、都筑区社会福祉協議会に5年勤めた後、前述の市社協に異動。大学では福祉を専攻、卒業後の一時期、民間の会社に勤めた経験がある。今思うに高校生のころから漠然とではあるが「将来は人のために、何か役に立つことをやりたい」と思っていたという。その夢が実現したのだ。

泉区に転勤されて感じたことは、「東戸塚、中区は高層ビルが多かったので、最初は雰囲気が違うと感じた。でも、緑が多く自然が豊かで温かみがある。住民の皆さんも優しく親切」。泉区を気に入ってくれて嬉しい。早く土地に慣れてたくさんの人と接してほしい。今年、泉区から社会人第一歩をスタートした丸山永夏さんにも言えることだ。

大橋さんの生まれは青葉台(青葉区)。子供のころはサッカーや空手、ピアノを習っていたが、現在はフットサルを友人とやるくらい。空手では忘れられない思い出があるという。指導してくれた高橋先生がいつも言っていた言葉「礼で始まり、礼で終わる」。この言葉は今でも大橋さんの「座右の銘」として残っている。「趣味は何ですか」。しばし考えていたが「これという趣味はないですが、作家の村上春樹は好きですね、共感します。新聞は1面から読みます。福祉以外の情報も知ることは視野を広げ今の仕事に役立つと思うからです。その積み重ねを日々、大切にしていきたい」。

その心掛けは大事だ。富井局長を助け、職場の仲間を敬い、地域の人から愛される人になってほしい。大橋さんにはそんなムードがある。

ボラネット一同、「心から応援しています」。

(宮田 貞夫)



■泉区ボランティアネットワークへの問い合わせ・加入申込み■

泉区ボランティアセンター(泉区和泉中央南5-4-13 泉区社会福祉協議会内)

電話：045-802-2150 FAX：045-804-6042

E mail：izumiku01@yokohamashakyo.jp

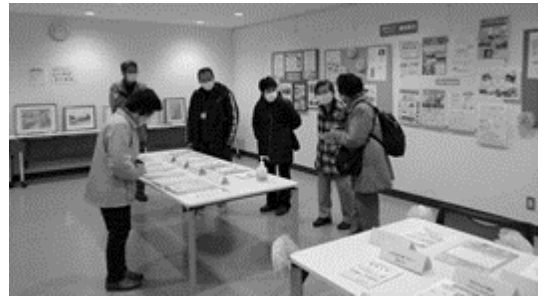
Facebook：泉区ボランティアネットワーク

泉区ボランティアネットワークHP：http://network.shakyo-iy.or.jp/

「第11回ボランティアフォーラム」形態を変えて開催

令和3年3月6日(土)～8日(月)の3日間、泉ふれあいホーム団体交流室で、作品等の展示とグループパネル掲示という形で「ボランティアフォーラム」を開催しました。

毎年、大勢の方に楽しんでいただけていますが、去年は中止となり、今回はどうにかして実施できないものかと話し合い、お互いの接触を避け、人数制限しながらの実施となりました。



会場の様子

ネットワーク会員の活動紹介パネルの掲示やボランティア活動団体の作品・広報誌・チラシなどが展示されました。

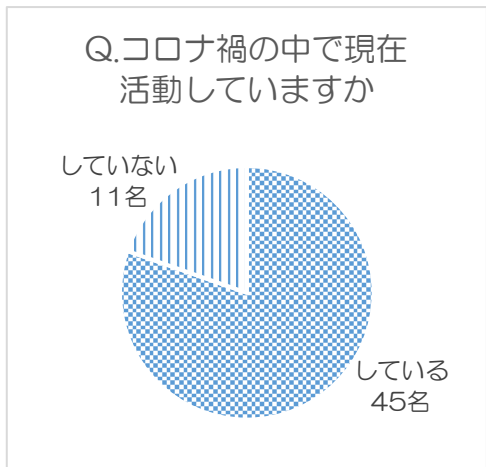
コロナ禍、手探りの開催となりましたが、ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

なお、団体交流室では、今後もネットワーク会員の活動周知および情報共有のために、紹介パネルを掲示しています。泉ふれあいホームにお立ち寄りの際、ご覧頂ければと思います。

今回の提出に間に合わなかったグループも A3 タテ型カラーの紹介ポスターを泉区ボランティアセンター窓口までお持ちください。随時受付けています。

コロナが収束し、またお茶菓子などをいただきながら、楽しいひと時が過ごせることを願っています。
(歌川 優子)

令和2年11月実施ボラネットアンケートについて



昨年10月、ボラネットの今後の活動に活かすため、会員の皆様にコロナ禍でのボランティア活動についてのアンケートを実施いたしました。その結果を報告します。

アンケートでは、「活動している」と答えた団体が45団体、「活動していない」と答えた団体が11団体との結果となりました。

「活動している」と答えた団体のうち、7団体が「通常通り活動している」、13団体が「人数等制限して活動している」、13団体が「行政等からの指導のもと活動している」との回答があり、さまざまな制約のなかでも多くの団体が活動を継続していることがわかりました。

また、活動においてはコロナ対策として、「体温チェックや消毒を徹底している」「万がーのため住所や氏名を記入している」「食事は控え、対面で座らないようにしている」などの工夫を行っているとの声がありました。
(丸山 永夏)

令和3年度泉区ボランティアネットワーク事業計画

運営委員会	毎月第1水曜日
一般部会	7月21日(水)
高齢者支援部会	10月20日(水)
子育て支援部会	10月25日(月)
障がい者支援部会	10月27日(水)
泉区民ふれあい祭り	11月3日(水)
泉区社会福祉大会開催協力	令和4年2月下旬予定
ボランティアフォーラム	令和4年3月上旬予定

子育て支援部会交流会

子育て支援部会交流会では、当初 2020 年 5 月 19 日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で延期され 11 月 9 日に参加者約 10 名で開催されました。

例年同様にボラネット会長挨拶に始まり、社協から令和 2 年度事業計画についての説明、参加団体の自己紹介を含めた意見交換を行い、コロナ禍での活動状態及び問題点など話し合わせ、従来にない深刻な問題と先の見えない状況がお互いに確認されました。

いよいよ工作品一式セット内の説明書を見ながら組立です。工作アイテムは、NHK イメージキャラクター“どーも君”をフリフリ人形化した品物です。開始から 20 分ほどで皆簡単に完成し、手で握る→離すの動きで“どーも君”がフリフリ動作し、その動きがユーモラスで好評でした。

コロナ状況下で中止せずに 3 密対応しながら各活動が委縮している中で、開催実施できたことは、意義があったように思われました。ご協力をありがとうございました。(佃 正美)



会場の様子

団体活動紹介

～ 泉区保育ボランティア マミーの活動 ～

保育ボランティアマミー（通称マミー）は、発足して 29 年となります。

マミーは、乳幼児を持つ保護者とお子さんを支援する為に区役所や公共施設で活動するグループです。乳幼児健診のお手伝い中田コミュニティハウス共催（月 1 回のおひさまサロン）や乳幼児の親の学習活動、社会参加を支援する為に区役所や地区センター、コミュニティハウス等で一時保育、親子サークルさんからの依頼を受けて「あそびの提供」を行っています。

また年 2 回マミー主催で行う「マミーとあそぼう」のイベント（ハロウィン、クリスマス会、七夕等）にも取り組んでいます。「マミーとあそぼう」では、手遊び・工作・パネルシアター・絵本の読み聞かせ等を行い親子さんの交流を図り楽しい時間を過ごして頂いています。

通常は、沢山の親子さんに参加して頂きたいのですがコロナ禍という事もあり昨年より参加親子さんの人数を制限し、事前申し込み制とし密にならないように対策をとり実施しております。

その他昨年度の泉区地域福祉保健計画推進イベントでは、ご希望でティッシュケースカバー（ティッシュの空き箱に布を貼る）を一緒に作り喜んで頂きました。

マミーは、さまざまな活動を通してこれからも親子さんが孤立しないよう、そして親子共に充実した時間を持って頂ける事を願って子育て支援活動を続けていきます。(鈴木 須美江)

泉区地域福祉保健計画推進イベント参加

新型コロナウイルスの感染拡大が依然、収束の気配がない。ボランティアネットワークの 80 数団体の活動も延期、中止になって久しい。こんな中、コロナ対策の完全予防策をとって第 3 期泉区地域福祉保健計画推進イベントが 2 月 24 日、25 日の 2 日間、開催された。「今だからこそ！続けよう地域の活動！守ろう地域のつながり！」――。会場になった泉区役所の 1 階区民ホールには中川、新橋、下和泉などで行われている地域活動の取組を紹介。

また 12 地区・関係機関の活動をパネルで紹介していた。1 日目は「木のおもちゃ作り」（中田社協）と、おもちゃの病院ドクトルベアーズが活躍。（編集後記を参照ください）2 日目は台村ふれあいサロンゆうゆうのちぎり絵作り。泉区保育ボランティア マミーが活躍。

なおボランティアセンターが 2 日間、「ボランティア活動に関する相談」コーナーを開き相談に乗っていた。コロナ禍とはいえ多くの方が参観に来てくれ無事に終わったことは今後の活動をするうえで参考になるのではないかと。皆さんの温かい声援に感謝。(宮田 貞夫)

複合災害時の災害ボランティアセンター

コロナ禍での複合災害に災害ボランティアセンター（災 VC）運営には、区内関係機関・団体との連携が欠かせません！

昨年1年間はコロナ禍で、情報共有の場であった対面会議が制限され、いざ災害が発生したときに、どう対応できるか、に悩みました。

そんな中で、昨年7月豪雨で熊本県ではコロナ蔓延防止のため、県を挙げて全国関係者も参加のオンライン会議で情報共有を実施し、各災 VC ではボランティア（V）事前予約、QRコードを使ってのV受付など、三密を避けた運営効率化を図りました。

しかし、V募集は、村、町、市、広くても県内と限定され、大災害にも係わらず、救援Vの数が少なく、未だに復旧が進んでいない現状です。

今年も、コロナの猛威は収まりません。この中で当地に災 VC を開設することを想定すると、センターのスタッフは、区社協職員と当災害ボランティア連絡会メンバーが中心とならざるを得ません。それには、オンラインの活用で関係の皆さんとの情報共有を図り、支援にムラ・モレが無いように、またセンター運営効率化のため ICT 化の推進を図る必要があります。同時に、被災者・地の復旧には、横浜市外からのVは期待できず、泉区内限定になると思います。被災者・地の復旧・復興のお手伝いを担う我々は、どうすべきでしょうか。

それには、当地域内の皆さんにスタッフ役、V役に参画いただく必要があると思います。そのためには今から、特に区内の広く関係者と連携できる体制づくりが必要と考えています。

（江尻 哲二）



定例会は、オンライン・ミーティングを始めています。

編集後記

■新型コロナウイルスの影響で各種イベントや会合が延期、中止のため26号から27号までの期間がおよそ7か月、間隔が空いてしまった。従って本号では2、3月のイベントが紹介されている。コロナ禍の中ではあったが最大限の感染予防を徹底し、開催にこぎつけたことは評価されて良いと思う。「フォーラム」では十分なスペースをとり三密を避けるなど、展示の配置に工夫して無事終了した。■一方、区役所の1階区民ホールで行われた「区地域福祉保健計画推進イベント」も「ドクトルベアーズ」や「マミー」のほか中田地区社協や個人の参加もあり、見学者も多かった。「こういうときだから続けよう！地域の活動！守ろう地域のつながり」の意気込みが成功に導いたといえる。■9月に予定された「親子のコンサート」も泉公会堂の改修工事が完了し期待したが、これもコロナ禍でワクチンの接種会場になって中止になった。■4月から区社協新人の丸山永夏さんが、ボラネットを担当してくれている。大学を出て1年間福祉の専門学校で社会福祉をみっちり学んだ。両親が福祉の仕事をしていたので、その背を見て育った。趣味はモダンダンス。体を動かすことが好きで、「体力には自信があります。」期待の星である。■これからの我々の会合も新時代に突入していくのか。佃正美さんが市社協の市民活動部会の報告で「市社協はZoomを昨年検討していると」と言っていたが何もせずに、単に部会開催を半減しているだけだ。Zoom会議はもう一般的に運用されている。どうなっているのか。ボラネットの運営委員会は、6月2日もオンラインで行われた。区社協の会場と各自宅での江尻氏、小嶋氏、佃氏らと会話ができた。前進の一步だ。

（宮田 貞夫）

編集委員

発行責任者：中嶋光代

広報委員長：宮田貞夫

広報委員：歌川優子、江尻哲二、金川一之、山内道子、泉区ボランティアセンター

令和2年度 泉区ボランティアネットワーク会員 社会福祉顕彰の受賞者紹介

新型コロナウイルス禍の中、令和2年度の泉区社会福祉大会は、令和元年度に引き続き公会堂等での開催は中止され、泉区社会福祉功労者表彰及び共同募金協力者表彰の被表彰者に対しては、事務局より表彰状と記念品が郵送で贈呈されました。

また、横浜市社会福祉協議会会長及び横浜市長、神奈川県社会福祉協議会会長からも本ネットワークの会員が表彰されました。特に、長年に渡る会員の皆様のご協力により、泉区ボランティアネットワークとしましても受賞することができました。

本ボランティアネットワーク通信No.26（2020年11月26日発行）以来活動を休止していたので、遅くなりましたがボランティア団体及び個人の受賞者をご紹介します。

◇泉区社会福祉功労者表彰

I. ボランティア活動功労

個人：1名……福祉増進のためボランティア活動を4年以上行い、功績顕著な個人

酒井 和枝 (泉区災害ボランティア連絡会)

II. 福祉団体自主活動功労

個人：16名……福祉団体での活動を5年以上行い、功績顕著な個人

但馬 惟友 (おもちゃの病院 ドクトルベアーズ)	牧 定子 (フリースペース い・ず・み)
大石 稜子 (いずみ布おもちゃぐるーぷ)	三輪 隆夫 (読み聞かせグループひだまり)
仲井 敏子 (読み聞かせグループひだまり)	遠藤 正一 (ウェルネスいずみ)
鈴木 雅 (ウェルネスいずみ)	石原 正弘 (泉・朗読と語りの会)
篠塚 敬子 (緑園サロン)	小竹 泰代 (緑園サロン)
中野 良雄 (日本語ボランティアいちょう)	谷 政幸 (日本語ボランティアいちょう)
山本 恵美子 (おやこのいばしょタンタン)	石原 路子 (おやこのいばしょタンタン)
鈴木 須美江 (泉区保育ボランティアグループ「マミー」)	高以良 美佳 (泉区保育ボランティアグループ「マミー」)

◇横浜市社会福祉協議会会長感謝

泉区ボランティアネットワーク

◇横浜市社会福祉・保健医療功労者市長表彰

Safety Kids いずみ	フリースペースい・ず・み
-----------------	--------------

◇神奈川県社会福祉協議会会長顕彰

Safety Kids いずみ
